

2018年度教育後援会活動報告

1. 2018 年度事業報告および決算

(1) 2018 年度事業報告

① 役員会

[第 1 回] 開催日：5 月 19 日（土）11：00～12：00

1. 京都精華大学 概要・2018 年度概況
2. 2018 年度教育後援会について
3. 2017 年度事業報告および決算
4. 2018 年度事業計画および予算

[第 2 回] 開催日：11 月 3 日（土）11：00～12：00

1. 2018 年度教育懇談会開催報告
2. 2019 年度寄付事業について

[第 3 回] 開催日：2019 年 3 月 21 日（木・祝）12：00～13：00

1. 2018 年度退任者・2019 年度役員会体制について
2. 2018 年度総括
3. 2019 年度活動計画

② 総会 開催日：6 月 23 日（土）11：00～12：00 /参加者数 53 名

1. 京都精華大学 概要・2018 年度概況
2. 2018 年度教育後援会について
3. 2017 年度事業報告および決算
4. 2018 年度事業計画および予算

③ 教育懇談会

本学会場 開催日：6 月 23 日（土）13：30～17：30 /参加者数 150 名

東京会場 開催日：9 月 15 日（土）13：00～16：30 /参加者数 20 名

④ 懇親事業 講演会「日本の文化と暮らしを灯す 和ろうそくの世界」

開催日：11 月 3 日（土、祝）14：00～15：30 /参加者数 89 名

⑤ 寄付事業

⑥ 活動報告文書の送付：2018 年 6 月

⑦ 教育後援会 Web サイトの運営

⑧ 生涯学習（公開講座「ガーデン」）受講支援

(2) 2018年度決算

京都精華大学教育後援会会計報告書

2018年4月1日 から2019年3月31日 まで

(単位:円)

収入の部

科 目	摘 要	予 算 額	決 算 額	差 異
前年度繰越金	2017年度決算からの繰越金	18,338,765	18,338,765	0
会費収入	芸術学部1年生 95名	3,800,000	3,800,000	0
	2年生 0名	0	0	0
	3年生 2名	20,000	30,000	-10,000
	デザイン学部1年生 182名	7,250,000	7,250,000	0
	2年生 1名	0	10,000	-10,000
	3年生 1名	20,000	20,000	0
	マンガ学部1年生 161名	6,350,000	6,350,000	0
	2年生 0名	0	0	0
	3年生 0名	0	0	0
	ポピュラーカルチャー学部1年生 62名	2,480,000	2,480,000	0
	2年生 0名	0	0	0
	3年生 0名	0	0	0
	人文学部1年生 75名	3,000,000	3,000,000	0
2年生 2名	30,000	40,000	-10,000	
3年生 1名	0	10,000	-10,000	
	小 計	22,950,000	22,990,000	-40,000
前受会費収入	芸術学部1年生 101名	9,600,000	4,040,000	5,560,000
	2年生 0名	0	0	0
	3年生 0名	0	0	0
	デザイン学部1年生 165名	8,320,000	6,600,000	1,720,000
	2年生 0名	0	0	0
	3年生 3名	0	60,000	-60,000
	マンガ学部1年生 170名	9,280,000	6,800,000	2,480,000
	2年生 0名	0	0	0
	3年生 1名	0	20,000	-20,000
	ポピュラーカルチャー学部1年生 60名	4,720,000	2,400,000	2,320,000
	2年生 0名	0	0	0
	3年生 1名	0	0	0
	人文学部1年生 121名	12,000,000	4,840,000	7,160,000
2年生 0名	0	0	0	
3年生 1名	0	20,000	-20,000	
	編入・転学科・再入学等想定分	250,000	0	250,000
	小 計	44,170,000	24,780,000	19,390,000
受取利息		6,000	4,888	1,112
	合 計	85,464,765	66,113,653	19,351,112

支出の部

科 目	摘 要	予 算 額	決 算 額	差 異
寄付金支出	家計急変学生のための給付奨学金	10,000,000	5,600,000	4,400,000
	交換留学生およびフィールド・スタディーズ海外履修支援奨学金	2,000,000	2,000,000	0
	キャリア支援活動の賛助	2,000,000	2,000,000	0
	卒業制作展支援	2,000,000	2,000,000	0
	展示・学修成果の発表支援	2,000,000	2,000,000	0
	情報館における図書・視聴覚資料の拡充	2,000,000	2,000,000	0
	小 計	20,000,000	15,600,000	4,400,000
会員への情報提供	印刷・発送経費	1,000,000	849,712	150,288
	保護者向けWebサイト管理・整備費	200,000	194,400	5,600
	小 計	1,200,000	1,044,112	155,888
事業費	総会広報・通信費	200,000	177,947	22,053
	総会懇親費等諸経費	100,000	12,940	87,060
	教育懇談会広報・通信費	300,000	17,100	282,900
	教育懇談会講師謝礼等	100,000	22,240	77,760
	教育懇談会講師謝礼等運営費(地方会場)	700,000	326,616	373,384
	懇親事業広報・通信費	300,000	373,644	-73,644
	懇親事業講師謝礼・材料費・会場設営費等	200,000	219,060	-19,060
	大学公開講座受講支援	30,000	33,000	-3,000
小 計	1,930,000	1,182,547	747,453	
役員会活動費	役員交通費	2,800,000	2,192,730	607,270
	会合費	150,000	103,263	46,737
	記念品費	150,000	156,384	-6,384
	弔慰(供花・弔電等)	50,000	21,600	28,400
	小 計	3,150,000	2,473,977	676,023
雑費	複数在籍者への会費返還分	300,000	150,000	150,000
	支 出 計	26,580,000	20,450,636	6,129,364
次年度繰越金	2019年度への繰越金	14,714,765	20,883,017	-6,168,252
	2019年度会費(前受会費)繰越金	44,170,000	24,780,000	19,390,000
	小 計	58,884,765	45,663,017	13,221,748
	合 計	85,464,765	66,113,653	19,351,112

2019年3月31日現在の資金有高

45,663,017円

(大学会計へ預け保管)

内 訳 2019年度への繰越金

20,883,017円 (実質繰越金)

2019年度会費前受金

24,780,000円

上記の通り報告いたします。
京都精華大学教育後援会

会 計

黒鳥 英俊



(3) 2018 年度寄付事業実績報告

① 家計急変学生のための給付奨学金	5,600,000 円
② 交換留学生およびフィールドスタディーズ 海外履修支援奨学金	2,000,000 円
③ キャリア支援活動の賛助	2,000,000 円
④ 卒業制作展支援	2,000,000 円
⑤ 展示・学修成果の発表支援	2,000,000 円
⑥ 情報館における図書・視聴覚資料の拡充	2,000,000 円
合 計	15,600,000 円

① 家計急変学生のための給付奨学金 ……………5,600,000 円

家計の急変で修学が困難になった学生を対象に、授業料に充当する形で給付しました。2018 年度は学内の立看板や Web 等で広く告知し、1 期と 2 期の 2 回募集を行いました。書類審査を経た者を面談し、下記のとおり採用認定者を決定しました。

出願者：15 名 採用認定者：13 名（前期 9 名 375 万円、後期 4 名 185 万円）

② 交換留学生およびフィールドスタディーズ海外履修支援奨学金 ……………2,000,000 円

海外協定校との交換留学制度を利用し留学した在学生 6 名に対し、各 20 万円を支給しました。また、海外フィールドプログラムに参加した在学生 15 名に対し、各 10 万円を支給しました。総額 270 万円のうち 200 万円を、教育後援会寄付金から充当しています。

1 年生対象の必修科目の中で後輩学生に向けて報告会を行ったほか、オープン・キャンパスや海外フィールドプログラムの保護者説明会でも、フィールドプログラムで体験した内容や成果等について広く説明を行いました。

< 交換留学生支援奨学金実績 >

	国名	派遣校	学部・学年	派遣期間
1	イギリス	ロンドン芸術大学 セントラル・セント・マーチンズ	マンガ学部 カートゥーンコース・3 年	2018 年 9 月 ～2019 年 2 月
2	イギリス	グラスゴー美術大学	芸術学部 洋画コース・3 年	2018 年 9 月 ～2019 年 1 月
3	フィンランド	トゥルク応用科学大学	デザイン学部 ライフクリエイションコース・3 年	2018 年 8 月 ～2018 年 12 月
4	フランス	パリ・マラケ国立建築大学	デザイン学部 建築コース・3 年	2018 年 8 月 ～2019 年 1 月
5	アメリカ	カリフォルニア芸術大学	デザイン学部 グラフィックデザインコース・3 年	2018 年 8 月 ～2018 年 12 月
6	フィンランド	トゥルク応用科学大学	芸術研究科 版画専攻・1 年	2019 年 1 月 ～2019 年 5 月

＜フィールドプログラム海外履修支援奨学金実績＞（※対象者は全て人文学部3年生）

	国名	フィールド研究テーマ	派遣期間
1	アメリカ	アメリカのストリートパフォーマンス	2018年3月～2018年6月
2	アメリカ	サンディエゴ動物園 ～ランドスケープイマージョン体験～	2018年3月～2018年6月
3	ニュージーランド	マオリとバケハの協働に見る持続可能性	2018年4月～2018年7月
4	ニュージーランド	ニュージーランド先住民民族マオリの衣装	2018年4月～2018年7月
5	スペイン	ムデハル建築から見る二宗教間の文化的融合	2018年4月～2018年7月
6	ドイツ	国家、市民、教会からみえてくる宗教の役割	2018年4月～2018年8月
7	カナダ	障害者の街歩きのにやすさ ～バンクーバーの街並みから～	2018年5月～2018年8月
8	カナダ	カナダ先住民の芸術作品 — 自然の描かれ方 —	2018年5月～2018年8月
9	カナダ	カナダにおける移民言語 ～移民は親の言葉を話さないのか～	2018年5月～2018年8月
10	台湾	台湾における韓流文化	2019年2月～2019年6月
11	フランス	絵本翻訳を通してジェンダー問題を見つめる	2019年2月～2019年6月
12	韓国	現代韓国社会における漢字文化の現状を知る	2019年3月～2019年7月
13	韓国	日本と韓国のストリートアート比較	2019年3月～2019年7月
14	韓国	日本の手話と韓国の比較を通し、韓国での手話の歴史を知る	2019年3月～2019年8月
15	韓国	韓国人の美容意識を知る ～フェイスマスクを中心にみる韓国人のコスメ文化～	2019年3月～2019年8月

③ キャリア支援冊子制作 ……………2,000,000 円

新2・3・4年生の全学部の保護者を対象に、進路就職関連の最新情報共有を目的とした保護者向け冊子を制作・発送しました。また、セイカ生の特徴や傾向に合わせた進路就職ノウハウ情報を盛り込んだオリジナル手帳の制作や、卒業生キャリアアドバイザー制度に向けた卒業生調査アンケートなどを行い、それらの総額約250万円のうち、200万円を寄付金で充当しました。

④ 卒業制作展支援 ……………2,000,000 円

「京都精華大学展2019～卒業・修了発表展～」と題した卒業制作展を学内で開催しました。全学部で展示施設の整備等を行い、告知DMの印刷発送費等をはじめとした全学対象費用約61万円、学部ごとの特別展示用設備・備品等の購入費等約446万円のうち、200万円を寄付金で充当しました。

⑤ 展示・学修成果の発表支援 ……………2,000,000 円

オープンラボをはじめ5学部の展示・学修成果発表の充実と周知に用いた費用として、DM印刷発送費や看板等サイネージ制作費などに要した約270万円のうち、200万円を寄付金で充当しました。

⑥ 情報館における図書・視聴覚資料の拡充 ……………2,000,000 円

情報館における新聞、雑誌を始めとした図書資料等購入費約1,135万円（2019年3月時点）のうち、200万円を寄付金で充当しました。

合 計 15,600,000 円

2. 2019年度事業計画および予算

(1) 2019年度事業計画

① 役員会

第1回：2019年5月11日（土）

第2回：2019年11月2日（土）（懇親事業と同日開催）

第3回：2020年3月20日（金・祝）（卒業式と同日開催）

② 総会

2019年6月8日（土）（教育懇談会と同日開催）

③ 教育懇談会

○本学会場 2019年6月8日（土）

○東京会場 2019年9月14日（土）

④ 懇親事業

2019年11月2日（土）

⑤ 寄付事業（詳細別記）

⑥ 活動報告文書の送付：7月予定

⑦ 教育後援会 Web サイトの運営

⑧ 公開講座ガーデン受講支援

(2)2019年度予算案

2019年度 教育後援会予算
2019年4月1日から
2020年3月31日まで

収入の部

科 目	摘 要	2019年度予算	2018年度実績	
前年度繰越金	前年度からの繰越金	20,883,017	18,338,765	
会費収入	芸術学部	1年生 101 名	4,040,000	3,800,000
		2年生 0 名	0	0
		3年生 0 名	0	30,000
	デザイン学部	1年生 165 名	6,600,000	7,250,000
		2年生 0 名	0	10,000
		3年生 3 名	60,000	20,000
	マンガ学部	1年生 170 名	6,800,000	6,350,000
		2年生 0 名	0	0
		3年生 1 名	20,000	0
	ポピュラーカルチャー学部	1年生 60 名	2,400,000	2,480,000
		2年生 0 名	0	0
		3年生 1 名	0	0
	人文学部	1年生 121 名	4,840,000	3,000,000
		2年生 0 名	0	40,000
3年生 1 名		20,000	10,000	
	小計	24,780,000	22,990,000	
前受会費収入	芸術学部	1年生 240 名	9,600,000	4,040,000
	デザイン学部	1年生 208 名	8,320,000	6,660,000
	マンガ学部	1年生 232 名	9,280,000	6,820,000
	ポピュラーカルチャー学部	1年生 118 名	4,720,000	2,400,000
	人文学部	1年生 300 名	12,000,000	4,860,000
	編入・転学科・再入学等 想定分		250,000	0
	小計	44,170,000	24,780,000	
受取利息		6,000	4,888	
	合 計	89,839,017	66,113,653	

支出の部

科 目	摘 要	2019年度予算	2018年度実績
寄付金支出	家計急変学生のための給付奨学金	7,000,000	5,600,000
	交換留学生およびフィールド・スタディーズ海外履修支援奨学金		2,000,000
	キャリア支援活動の賛助	2,000,000	2,000,000
	卒業発表展支援	5,000,000	2,000,000
	展示・学修成果の発表支援		2,000,000
	情報館における図書・視聴覚資料の拡充	2,000,000	2,000,000
	学内環境の向上	4,000,000	—
	小計	20,000,000	15,600,000
会員への情報提供	保護者への印刷・発送など経費	1,200,000	849,712
	保護者向けWebサイト管理・整備費	300,000	194,400
	小計	1,500,000	1,044,112
事業費	総会・教育懇談会案内・通信費	400,000	1,182,547
	総会・教育懇談会諸経費	50,000	
	教育懇談会講師謝礼	50,000	
	教育懇談会運営費（東京）	500,000	
	懇親事業案内・通信費	400,000	
	懇親事業運営費（講師謝礼含む）	300,000	
	大学公開講座受講支援	50,000	
	小計	1,750,000	1,182,547
役員会活動費	役員交通費	2,300,000	2,192,730
	役員資料郵送費	100,000	0
	会合費	120,000	103,263
	記念品費	180,000	156,384
	弔慰（供花・弔電等）	50,000	21,600
	小計	2,750,000	2,473,977
雑費	複数在籍者への会費返還分	300,000	150,000
	支出計	26,300,000	20,450,636
繰越金	次年度への繰越金	19,369,017	20,883,017
	次年度会計（前受会費）への繰越金	44,170,000	24,780,000
	小計	63,539,017	45,663,017
	合 計	89,839,017	66,113,653

(3) 2019 年度寄付事業

会則第 4 条第 2 項に基づき、「教育内容の充実・向上をはかり、教育環境の改善につとめる」大学の事業に対し、寄付を行います。2018 年度第 3 回役員会にて、2019 年度に向けた寄付事業内容案について協議がなされ、以下の 5 種類の支援を行うという提案内容が固まりました。

奨学金の充実 家計急変学生、交換留学生等のための給付奨学金	7,000,000 円
報告・展覧の支援 卒業発表展、学修成果の確認・発表週間、各種展示の支援	5,000,000 円
キャリア支援活動の賛助 キャリア支援冊子の制作、キャリア関連書籍の購入等	2,000,000 円
図書・視聴覚資料の拡充 情報館における情報館資料の拡充	2,000,000 円
学内環境の向上 施設設備の整備、憩いスペースの増設等	4,000,000 円
合 計	20,000,000 円

① 奨学金の充実

学費支弁者の様々な事由（保護者の死亡・失業・倒産・病気・火災・自然災害など）により、家計が急変し、学費納入が難しくなった学生を対象に旧型奨学金による支援を行います。対象者は原則として入学前 2 年間、もしくは入学後 4 年次までの間に、学費支弁者の家計に急変事由が生じた者としています。

また、交換留学（海外協定校への半期留学）およびフィールドスタディーズの促進を目的とした給付型奨学金による支援を行います。意欲ある学生を 1 人でも多く支援するため、渡航・滞在費の一部を援助することで経済的負担を軽減し、参加を促進します。

② 報告・展覧の支援

2017 年度より継続的に学内で開催している「学修成果の確認・発表週間」「卒業発表展」における展示施設等の整備・充実、また、ギャラリーフロールでの在学生による申請展等の展示の充実のため、これらにかかる費用の一部を支援します。2019 年度の卒業発表展は、例年通り 2 月に開催を予定しています。

③ キャリア支援活動の賛助

学生グループでは、就職活動をスタートする学生を支援するための情報を盛り込んだ本学オリジナル手帳、保護者向けの進路・就活サポートに関する冊子を制作しています。そのほか、毎年最新版を更新する学生貸出し用のキャリア関連書籍の購入など、キャリア支援活動にかかる費用の一部を賛助します。

④ 図書・視聴覚資料の拡充

図書館およびメディアセンター、博物館機能を持つ情報館では、あらゆる情報の収集から発信までを総合的に扱っています。専門書や雑誌、マンガ、映像、音楽まで幅広く資料を揃えることで、在学生の教育・研究活動を支えるため、資料拡充費を援助します。

⑤ 学内環境の向上

ダイバーシティ推進宣言に基づき、全ての学生が心地よいキャンパスライフを送ることができるよう、従来のキャンパス環境を更に快適にするために必要となる施設設備の整備を援助します。

(4) 役員・役職役員について

① 役員

2019年度の役員候補者は以下の33名です。なお、京都精華大学学長のウスビ・サコ氏が教育後援会顧問を務め、運営事務は経営企画グループが担当します。

[継続]

氏名	カナ	学生名	学部	コース	学年	居住地
安倍 高子	アベ タカ	孝美	デザイン	イラスト	3	大阪府寝屋川市
石川 善枝	イカ ヨシエ	奈依	マンガ	アニメーション	4	兵庫県神戸市
海野 晴奈	ウノ ハルナ	光介	デザイン	デジタルクリエイション	4	岡山県岡山市
大坂 なおみ	オサカ ナオミ	和奈	マンガ	カートゥーン	4	静岡県伊東市
梶 貴徳	カシ 貴ノリ	結莉乃	ポピュラーカルチャー	音楽	4	山口県岩国市
金子 宏江	カネ ヒロエ	未歩	マンガ	アニメーション	4	埼玉県所沢市
黒鳥 英俊	クロトリ ヒデトシ	朱里	マンガ	アニメーション	4	千葉県松戸市
小山 千秋	コヤマ チキ	めぐみ	ポピュラーカルチャー	ファッション	3	大阪府箕面市
小脇 紀子	コワキ ノリコ	仙太郎	デザイン	デジタルクリエイション	2	兵庫県神戸市
齋藤 歩	サイノウ アユム	天海	マンガ	アニメーション	3	広島県広島市
坂田 和彦	サカタ カズヒコ	駿	マンガ	アニメーション	4	山口県山口市
佐藤 信雄	サトウ ノブオ	永梨	マンガ	アニメーション	3	東京都大田区
清水 薫	シズミ カオリ	利華子	マンガ	アニメーション	4	兵庫県川辺郡
高田 朋子	タカタ トモコ	大希	人文	—	2	岡山県倉敷市
田中 永美	タナカ エミ	美衣	デザイン	イラスト	2	石川県羽咋市
田邊 恵美子	タナベ エミコ	巧	デザイン	建築	4	東京都世田谷区
辻 忠久	ツジ タダヒサ	見人	人文	—	4	京都府京都市
寺田 勝一	テラタ ショウイチ	遊	マンガ	カートゥーン	4	京都府宇治市
富田 典子	トミタ ノリコ	あや香	デザイン	グラフィックデザイン	3	愛知県瀬戸市
永野 裕夫	ナガノ ヒロオ	由芳	デザイン	建築	3	高知県土佐清水市
服部 今日子	ハットリ キョウコ	薫	マンガ	アニメーション	3	愛知県名古屋
藤田 明美	フジタ アケミ	和樹	ポピュラーカルチャー	音楽	4	京都府京都市
宮下 慎一	ミヤシタ シンイチ	源基・美新	人文	—	3	長野県東筑摩郡
武藤 節子	ムトウ セツコ	凌平	マンガ	ストーリーマンガ	3	埼玉県狭山市
柳沢 友美子	ヤナギサキ ユミコ	結真	デザイン	イラスト	2	岩手県奥州市
山脇 剛	ヤマワキ ツヨシ	純太	デザイン	グラフィックデザイン	3	奈良県大和高田市
吉田 弘美	ヨシダ ヒロミ	松之助	芸術	日本画	4	京都府相楽郡
若園 千景	ワカヅノ チカガ	季凜	芸術	洋画	3	京都府京都市
脇坂 庸り子	ワキサカ ユリコ	玲名	ポピュラーカルチャー	ファッション	3	京都府京都市

[退任]

氏名	カナ	学生名	学部	コース	学年	居住地
関場 明子	セキハ アキコ	一	マンガ	アニメーション	3	埼玉県狭山市

[新任]

氏名	カナ	学生名	学部	コース	学年	居住地
海老原 幸子	エビハラ サチコ	太一	ポピュラーカルチャー	ファッション	1	京都府宇治市
小村 哲也	コムラ テツヤ	修平	人文	—	1	和歌山県和歌山市
坂本 里美	サカモト リミ	智美	マンガ	アニメーション	2	静岡県静岡市
馬場 昌子	ババ マサコ	康治	芸術	—	1	京都府長岡京市

② 役職役員

2019年度における役職役員の候補者は下記のとおりです。

会 長	梶 貴徳	(ポピュラーカルチャー学部音楽コース4年)
副会長	安倍 高子	(デザイン学部イラストコース4年)
副会長	黒鳥 英俊	(マンガ学部アニメーションコース4年)
副会長	山脇 剛	(デザイン学部グラフィックデザインコース3年)
会 計	田中 永美	(デザイン学部イラストコース2年)
監 事	小脇 紀子	(デザイン学部デジタルクリエイションコース2年)
監 事	服部 今日子	(マンガ学部アニメーションコース3年)

(5) 教育後援会 会則・弔慰取扱細則

京都精華大学教育後援会会則

<名 称>

第1条 本会は京都精華大学教育後援会と称し、事務所を京都精華大学内に置く。

<目 的>

第2条 本会は京都精華大学の教育理念に賛同し、その一層の発展を後援することを目的とする。

<会 員>

第3条 本会の会員は京都精華大学の学部生の学費支弁者（父母等）をもって構成する。

2 本会の目的に賛同する教育界・文化芸術界・財界・政界等の諸氏をもって賛助会員を構成する。

<事 業>

第4条 本会は第2条の目的のため次の事業を行う。

(1) 現代における青年の問題・大学教育の問題等について理解を深め、意見を交換するための諸事業。

(2) 教育内容の充実・向上をはかり、教育環境の改善につとめること。

(3) その他本会の目的達成に必要な諸事業。

<役 員>

第5条 本会に次の役員を置く。

(1) 役員 45名以内

会員の中より選出する。ただし、若干名は京都精華大学より選出する。

(2) 会長 1名

役員の中より互選し、本会を代表する。

(3) 副会長 若干名

役員の中より互選し、会長を補佐する。

(4) 会計 1名

役員の中から互選する。

(5) 監事 2名

役員の中から互選し、会計の監査をする。

第6条 本会に顧問を若干名置くことができる。

2 顧問は役員会の推薦により選任し、主要案件の審議に参加する。ただし、その内に学長を含む。

第7条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

<会 議>

第8条 本会は、次の会議をもつ。

(1) 総会

(2) 役員会

第9条 総会は本会の最高決議機関で、年1回開くものとする。ただし、必要に応じて臨時総会を開くことがある。

第10条 会の議決は出席者の過半数をもって決定する

第11条 役員会は必要に応じ、会長がこれを招集する。

第12条 役員会は役員数の2分の1で成立し、議決は出席者の多数決による。

<会 計>

第13条 本会の経費は会費、寄付金、その他の収入をもって充てる。

第14条 本会の会費は年額10,000円とする。

2 外国人留学生の場合は会費を免除する。

3 同時に在籍する複数学生の学費支弁者（父母等）は学生1名分の会費とする。

第15条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

<細 則>

第16条 本会則に定めのないものの取扱については、細則で定めるものとする。

<改 廃>

第17条 本会則の改廃は総会において行う。

<附 則>

1. 本会の事務は、京都精華大学職員中より会長がこれを委嘱する。

2. 本会則は1972年10月30日から施行する。

3. 本会則は1974年11月3日に改定し、1975年4月1日より施行する。

4. 本会則は1976年11月3日に改定し、1977年4月1日より施行する。

5. 本会則は1978年11月3日に改定し、1979年4月1日より施行する。

6. 本会則は1990年11月3日に改定し、1991年4月1日より施行する。

7. 本会則は1997年11月3日に改定し、1999年4月1日より施行する。

8. 本会則は1998年11月3日に改定し、1999年4月1日より施行する。

9. 本会則は1999年10月17日に改定し、2000年4月1日より施行する。

10. 本会則は2003年10月26日に改定し、2003年4月1日より適用する。

11. 本会則は2008年7月20日に改定し、2009年4月1日より適用する。

京都精華大学教育後援会弔慰取扱細則

<目 的>

第1条 この細則は、「京都精華大学教育後援会会則第16条」に基づき、教育後援会会員等に対する弔慰の取扱について定めるものとする。

<弔慰の方法>

第2条 弔慰の方法は、供花ならびに弔電をもって行うものとする。

<対 象>

第3条 弔慰を行う対象は学部生本人および教育後援会会員（学費支弁者）とし、会員に配偶者がある場合はその配偶者も対象とする。

<特別措置>

第4条 本細則に定めのない者で、弔慰をあらわすことが適当と認められる場合は、教育後援会長の提案により行うものとする。

<改 廃>

第5条 本細則の改廃は、役員会にて行う。

<附 則>

1. 本細則は2008年7月20日に制定し、2009年4月1日から施行する。